



松小だより

2月号
高松市立松島小学校

こころの劇場鑑賞で感動 「人間になりたがった猫」

1月28日午後、劇団四季出演によるミュージカル「人間になりたがった猫」を5・6年生で鑑賞に行ってきました。鑑賞は無理かもしれないと思いながら申し込みをしていたところ、松島だけでなく築地・新塩屋町も認められ、一緒に鑑賞することができました。

子どもたちがサンポートホールの大ホール客席に入った途端、3階まである客席や荘厳さに驚き、しばらくその場にたたずんでいました。先生の指示で指定された席に座り、いただいたパンフレット見ていましたが、何か足が地についていないようでそわそわした様子でした。劇が始まって少し周りがざわついていましたが、物語が進むにつれて、次第に静かになり視線がステージに集中していました。歌あり、踊りあり、笑いありの楽しい場面もあり、静動の動きが素晴らしく、出演者が一体になってのダイナミックな演技に魅了されていました。特に、猫から人間になった主人公ライオネルが火事で悪者の軍人スワローを助ける場面では、ホール内がシーンと静まりかえり、ステージ上の細かな動きや言葉に注目していました。

最後、上演中に何度も歌われた「みんな素敵な友だち」を、出演者と一緒に全員で歌うところでは、子どもたち一人一人がその歌詞の意味をよく理解して気持ちを込めて歌っていました。

このミュージカルを観た5・6年生は、「こころの劇場」開催の意図である「命の大切さ、人を思いやる心、信じ合う喜びなどを舞台を通じて語りかけたい」というメッセージをしっかりと受けとめ、自らのこれからの生き方に活かすことができることでしょう。素晴らしいプロの演技に感動し、一気に劇団四季のファンが増えたことと思います。6年生の感想をいくつか裏面に載せています。



写真は
パンフレット
より

＜子どもたちの自主的な活動の輪が広がっています＞

子どもたちの挨拶運動の輪が広がっています。児童会である松島計画委員会が中心となつてはじめた挨拶運動。毎週金曜日には、寒い朝でも西玄関、低学年・高学年の靴箱、保健室前、階段など校内のあちこちで「おはようございます」の音が響き渡り、すがすがしい気持ちのよい輪が広がっています。見ていてとてもほほえましい感じがします。松島計画委員の子どもたちは、朝の活動として挨拶だけでなく、落ち葉拾いや廊下の清掃を自主的にしてくれています。学校を美しい環境に保ちたい、仲間の輪が広がる学校にしたいという気持ちは素晴らしく、是非、高松第一小学校へ新しい伝統として引き継いでいって欲しいと思います。

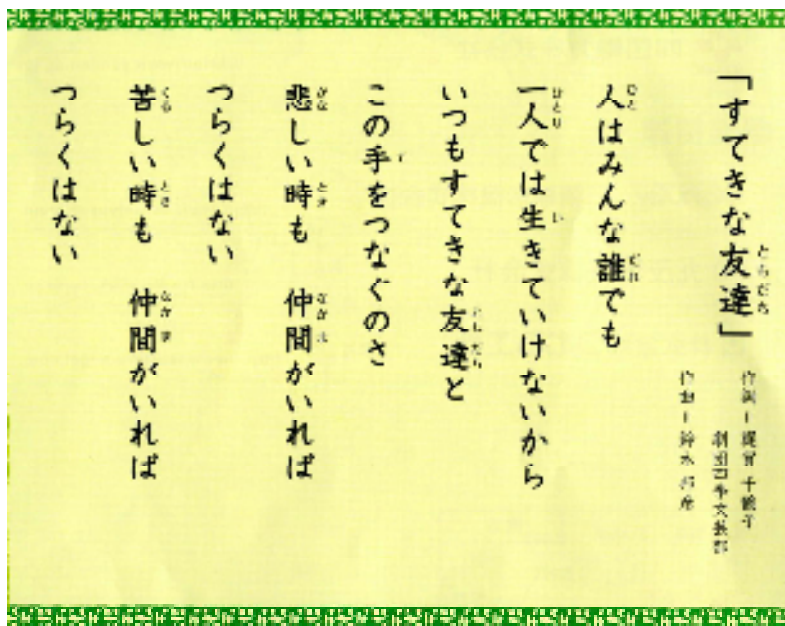


みんなで体力づくりに挑戦

寒い冬も体力づくりに挑戦。昼休みになると長縄跳びをもってみんなで運動場へ出かけています。先生方も一緒に出て長縄を回したり応援したりしています。はじめの頃はすぐに詰まっていたのですが慣れるにしたがってずいぶん続けられるようになっていきます。お互いに声を掛け合って励まし合いながら跳んでいて中には連続で 1000 回までできるようになったクラスもありました。引き続き縄跳びなどに取り組み、体力アップにつながったと思っています。



劇団四季「人間になりたがった猫」を鑑賞した6年生の感想



【パンフレットより】

はじめサンポートのホールについた時、どんなところだろうと思っていました。中に入るととても大きくびっくりしました。劇が始まる前とてもドキドキしました。最初の場面は面白いシーンばかりで思わず笑ってしまいました。けれど、後半になって感動的なシーンがたくさんあり思わず拍手をしてしまいました。とても良かったので一生忘れたくありません。

あんなすごい演技ができるなんてすごいと思いました。お話の中で一番心に残ったところは、ライオネルにひどいことをしてきたスワガードをライオネルが助ける場面です。なんだか「すてきな友達」の歌の意味が分かった気がしました。

「人を助ける」「守る」ということは、とっても大切なことなんだなと思いました。歌詞にあるように「みんな一人では生きていけない」という言葉に心をうたれました。これからは、みんなと助け合うという心をもっていきたいと思いました。

登場人物が繰り広げる躍動感いっぱいのダンスと心にずっと残るような美しい歌声、そして、迫力のある舞台セットや音響、どれも素晴らしかったです。これからは友だちや家族を大切にしていきたいです。